

平成28年予算決算委員会第2分科会会議録

1. 招集年月日 平成28年9月15日
2. 招集の場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 開 会 平成28年9月15日 午後3時35分 分科会長宣告

4. 審査事項

協議事項

1. 予算決算委員会提言の取りまとめについて

①企業誘致対策経費・商工振興対策経費について

- ・行政からの働きかけによる企業誘致
- ・都市計画マスタープランの用途指定などを含めた産業、経済振興

②観光交流推進事業について

- ・地域活性化を見据えた外国人観光客の誘致

③新たなエネルギー社会づくり事業について

④支え愛地域づくりモデル事業について

- ・ボランティア確保

⑤道路改良事業について

- ・都市計画道路など整備計画の見直しや計画変更の必要性

2. その他

5. 出席委員 (6名)

分科会長	天羽良明	分科会員	勝野正規
分科会員	亀谷光	分科会員	伊藤健二
分科会員	川上文浩	分科会員	渡辺仁美

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

予算決算委員長	可児慶志	予算決算副委員長	高木将延
---------	------	----------	------

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局 書記	渡邊ちえ	議会事務局 書記	林桂太郎
-------------	------	-------------	------

○分科会長（天羽良明君） それでは、これより予算決算委員会第2分科会を開催します。

認定第1号から認定第15号までの平成27年度各会計決算認定審査の結果を踏まえて、平成27年度の予算執行の反省を平成29年度当初予算編成に生かすよう提言を行っていきたいと思います。

平成28年9月9日と12日の予算決算委員会において、委員からの発言がありました内容をもとに、本日、分科委員の皆様からの建設市民委員会所管についての御意見をいただき、まとめていきたいと思います。

9月9日、12日の予算決算委員会において出された意見は5つございました。1つ、企業誘致対策・商業振興対策経費について、2. 観光交流推進事業について、3. 新たなエネルギー社会づくり事業について、4. 支え愛地域づくりモデル事業について、5. 道路改良事業についてです。

これらの意見のうち、提言として取り上げるかどうかについて、一つずつ皆様から御意見をいただきながらというふうに思っておりましたが、まずは副委員長のほうで取りまとめを行っておりますので、副委員長のほうから御発言をお願いしたいと思います。

○分科会員（勝野正規君） あくまでも先般の委員会において5点出ささせていただきましたので、平成29年度の予算へ反映できるような提言を行いたいというのが大前提でありますけれども、そうじゃない部分、所管として行政への提言もあろうかと思えます。

1点目の企業誘致対策・商工対策経費についてということですが、これは行政からの働きかけによる企業誘致や、都市計画マスタープランの用途指定などを踏まえて、産業経済振興を積極的に進めて、歳入の確保に努めてほしいという提言と捉えております。

5つありますけれども、当委員会としてはやっぱり絞っていきたくて、2つないしは3つ、全てが重要な案件だと思いますけれども、そうさせていただくことを前提として話を進めさせていただきたいと思えます。

多数決なんていう話はないので、それぞれ意見言っていたいただいてもいいです。

私個人的に、まず意見を言っていけば、例えば4番目の支え愛地域モデル事業については、ボランティアがボランティアを呼んで人を集めてくださいよという御意見でしたけれども、これは今モデル事業として行政も取り組んでおるとのことと、あくまでも人的、人から人へのつながりということで、当委員会としての提言よりも、行政で頑張っよと言っていくぐらいでいいかなということをおもっております。

ごめんなさい、順番が逆になった。2番目の観光交流推進事業については、今、可児市も観光交流ということでランドデザインの本編もつくって、積極的に取り組んでおりますけれども、例えば、可児市は京都市とか高山市のような観光地じゃないんで、これはこれからの未来の計画推進だと思っておりますので、これも今の時点で当委員会提言として持っていかななくても、頑張っよということぐらいで済ませておけばいいかなと思っております。

とりあえず残りの3点についてなんですけれども、今、申し上げました2点は、提言から

外すと言ったことに対して、別にやっぱりという意見言っていて構いませんので、お願いいたします。

○分科会長（天羽良明君） それでは、今の副委員長からの発言を踏まえて、皆様から自由に御意見をいただきたいと思います。

今の副委員長のお話では、2番と4番についてはなしという意味だったと思います。残った3つで進めていったらどうだという形でしたが、いかがでしょうか。

○分科会員（川上文浩君） 5つ出されてて、ざっと見て読んだところ、これを基礎にしてちょっとたたいていくという話になるんですが、勝野副委員長おっしゃるとおり、観光事業の外国人目線の云々というのと、支え愛の地域モデル事業、それから道路改良事業はもう予算決算委員会の中で、提言として来年度予算に反映させるというよりも、常任委員会として要望も出していますし、そういうことやっているんで、この1、3を何とか取りまとめて提言につなげていくというような形でいいんじゃないかなあというふうに私は思ってるんですけども、やっても1、3。まとめ方によっては1つになるかもしれませんが、2、4、5に関しては、我々とする所管事務の常任委員会の中で進行管理なり、所管事務調査として同時にやっていけばいいのかなと思っています。だから、絞って1、3というふうに思いますが、すけれども。

○分科会員（勝野正規君） 今、川上委員に5番のことを言っていて、助かったといえは助かりましたけども、去年、実はこれ提言を上げて、予算上乘せしてつけてくださいましたよね。今、副委員長としては継続的にやっていく必要があるからということで、三角にしてあってペケにはしていないんです、私のところでは。それで、所管の委員会として個々にやっていけばいいということでもよろしければ、それに異論はございません。

○分科会員（伊藤健二君） 今、副委員長がおっしゃったように、所管の中でやればいいのかというのが私の意見であり、結論です。

1つは、これにかかわっては、道路改良事業となっているんだけど、道路を改良する事業は全部道路改良事業だけれども、市として前年度で議論をされたのは、市民の生活道路、例えば緑だとか鳩吹台だとか云々という議論があって、それは予算化をしてやって、その後も進捗を見ていく必要があるんで、そういう点でいうと、文字どおり本委員会で継続して定期点検をかけながら、特に起こっている問題はないかということで対処すべき問題だろうと。だから、このテーマは、5番、道路改良事業という表現は、書いてある内容が全く別物ではないんだけど、都市計画道路のあり方と計画の今後の推進の話なんですよ、専ら。だから、そういう点でいうと、今回議論出て、そしてずっと見直しすべきだという声があるにもかかわらず、見直しを検討するという表現だけにとどまった計画が出てきたので、都市計画マスタープランの中で。それだけじゃ不十分だよという話も踏まえて、これは引き続き追求するんだけど、ここでいうところの提言問題とは切り離して問題ないというのが結論。だから、川上委員の提起でこれは取るということでもよろしいんじゃないですか。決まりでしょう、それで。

○分科会員（渡辺仁美君） 提言については川上委員のおっしゃるとおり、それで異議ありません。ただ、観光推進事業については、これは可児市のこれからのまちづくりとか地域の活性とか、そういったところにつながる問題ですので、これも引き続き注意深く見守っていきたいものの一つに、項目にぜひ入れていただきたいです。そういう項目はないにしても、そういうことでお願いします。

○分科会長（天羽良明君） もちろんです。

今、渡辺委員言われたことはもちろんというふうに思いますので、こういうやりとりがあったということで、委員長報告のほうに上げていただく方法もございしますが、皆さんいかがいたしましょうか。

[了の意思表示あり]

今、渡辺委員言われたこと、観光のことについては委員長報告のほうにお願いするという形で取り上げさせていただくということで。

それでは、提言といたしましては1番と3番という形に絞って、提言の成文化を図っていききたいというふうに思います。

それでは、暫時休憩といたします。

休憩 午後3時44分

再開 午後4時27分

○分科会長（天羽良明君） それでは、暫時休憩を終わります。

当委員会分科会として、提言を2つに絞っていただきました。

まず1つは、地域経済発展のための産業振興を図ることについて。商工振興費を充実し、積極的な企業誘致や起業支援を行い、雇用の確保を促進すること。また、都市計画マスタープランの用途指定変更による土地利用を推進することで、産業経済の振興を図ること。

2つ目、新たなエネルギー社会づくり事業について。可児市再生可能エネルギー戦略に基づく新たなエネルギー社会の実現のため、4年間の研究を踏まえ、今後とも積極的な推進を図ること。以上です。

この2つを予算決算委員会のほうに送りたいと思います。皆さん、それでよかったですでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

○分科会員（川上文浩君） あと、文言とかてにをはの修正に関しましては、正・副委員長に一任しておきますので、訂正があったら訂正しておつくりいただいて結構です。

○分科会長（天羽良明君） わかりました。それでは、訂正のほうは委員長、副委員長で責任を持って進めていきたいというふうに思います。

これで第2分科会を終わりたいと思います。お疲れさまでした。

閉会 午後4時29分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年9月15日

可児市予算決算委員会第2分科会長